

HI-MAIZE 1043 : 機能性評価の対象論文 (食後血糖値)

発表年	雑誌名	試験デザイン	まとめ
2002	Eur J Clin Nutr. 2002 Sep;56(9):913-20	無作為化単盲検交差比較試験 n=25	血糖値のグルコースAUCは高アミロースパン摂取群においてコントロール群と比して有意に低下した。
1996	Am J Clin Nutr. 1996 Dec;64(6):944-51	無作為化交差比較試験 n=23	ハイアミロース食摂取期ではローアミロース摂取期と比較して血糖値が食後45分で有意に低下した。
2003	Diabetologia. 2003 May;46(5):659-65	無作為化単盲検交差比較試験 n=10	ハイアミロースコーンスターチ食摂取群は、コントロールに対して、食後血糖値は2時間後に有意に低下した。
2005	Cereal Chem. 82(6):654-659	無作為化並行群間試験 n=24	ハイアミロースコーンスターチ含有マフィン摂取群で30分後に有意に食後血糖値が低下した。
1995	J Nur. 1995 Nar; 125(3):459-65	オープン試験 n=9	ハイアミロースコーンスターチ含有コーンブレッドケーキ摂取群はコントロール群に対して食後血糖値が70分後に有意に低下した
2006	Am J Clin Nutr. 2006Apr;83(4):817-22	無作為化単盲検交差比較試験 n=10	アミロース食摂取群はアミロペクチン食摂取群に対して食後30分の血糖値が有意に低下した。
1995	Am J Clin Nutr. 1995 Feb;61(2):334-40	無作為化交差比較試験 n=24	ハイアミロース食摂取群はオーアミロース摂取群に対して食後血糖値が4週目、13週目で有意に低下した。
1989	Am J Clin Nutr. 1989 Feb;49(2):337-44	無作為化交差比較試験 n=12	摂取5週目でアミロース食はアミロペクチン食に比して60分後の血糖値が有意に低下した。
1988	Am J Clin Nutr. 1988 Mar;47(3):428-32	無作為化交差比較試験 n=25	ハイアミロースクラッカー摂取群はローアミロースクラッカー摂取群に比して血糖値は摂取30分後有意に低下した。
2005	Diabetes Care. 2006 May;29(5):976-81	無作為化交差比較試験 n=20	レジスタントスターチ入りマフィン摂取群は摂取1時間後の血糖値が有意に低下した。
1999	Eur J Clin Nutr. 1999 May;53(5):360-6.	オープン試験 n=8	ハイアミロースコーンスターチ入りパンでは血糖値が、摂取90分後に有意に低下した

HI-MAIZE 1043 : 機能性評価の対象論文 (空腹時血糖値)

発表年	雑誌名	試験デザイン	まとめ
2002	N Nutr Sci Vitaminol 2004 Apr;50(2):93-9	無作為化二重盲検並行 群間試験 n=25	過体重および肥満女性にアミロース入リスープを摂取させた結果、 空腹時血糖値は摂取により有意に低下した。
2012	J Clin Endocrinol Metab. 2012 Sep;97(2):3326-32	プラセボ対照無作為化 単盲検交差比較試験 n=16	糖尿病ではないインスリン抵抗性のある男女にハイアミロース コーンスターチを8週間摂取させた結果、空腹時血糖値がプラセボ に対して有意に低下した。
2012	Plus One. 2012;(7):e40834	プラセボ対照無作為化 単盲検交差比較試験 n=12	インスリン抵抗性のある男女にハイアミロースコーンスターチを4 週間摂取させた結果、プラセボと比較して空腹時血糖値が有意に 低下した。
2008	Diabet Med. 2010 Apr;27(4):391-7	プラセボ対照無作為化 単盲検並行群間試験 n=20	メタボリック患者にレジスタントスターチを12週間摂取させ、イ ンスリン感受性を検討した結果、プラセボに対して有意に改善し た。
2005	Am J Clin Nutr. 2005 Sep;82(3):559-67	プラセボ対照無作為化 単盲検交差比較試験 n=10	レジスタントスターチとプラセボを4週間摂取させインスリン感受 性を検討した結果、プラセボと比較して有意に改善した。